市報 12.10 TOKAMACHI 平成23年(2011) December 第161号

とおかまち

味わう郷土の味、つながる食の文化

「第7回なかさと食の文化祭」が、11月27日(日)、中里ショッピングセンターユーモールで行われました。今年は71人が、地元食材を使った家庭料理119品を出品。その料理への思いや知恵が添えられていました。参加者は、それぞれの家庭の味や創意工夫を楽しみながら交流していました。

主な内容

- 第63回十日町雪まつり …… 2-5
- 雪処理に注意とご協力を …… 6-7
- 上手な救急医療の使い方 …… 8-9
- 表彰おめでとう／行政改革取り組み ほか …… 10-11
- 空き店舗改修工事費補助／地産地消 ほか …… 12-13
- 地域の風～支所からのたより～ …… 14-15
- ときめきネットワーク／トピックス ほか …… 16-19
- 年末年始の業務／お知らせ・ガイド ほか …… 20-23
- ジュニア芸術祭 ― 田沢小学校 ― …… 24

平成24年2月17日㈮ 午後6時 ～ 19日㈰ 午後4時

— 白い愛の祭典 —

第63回 十日町雪まつり

■問合せ：十日町雪まつり実行委員会事務局　☎757-3100

24年２月17日㈮～19日㈰、第63回十日町雪まつりが開催されます。「白い愛の祭典」をメーンテーマに、幻想的な雪上カーニバルをはじめ、おまつりひろばや街のいたるところに雪像が制作され、街全体がホワイトミュージアム（純白の美術館）として盛り上がります。冬の日本海側最大のイベントで現代雪まつり発祥イベント「十日町雪まつり」。織物の歴史が息づく美しい街に繰り出してみませんか。

音と光のスペクタクル 雪上カーニバル

●日時：**2月18日㈯　午後5時～6時30分**
●会場：**城ケ丘ピュアランド**（十日町駅から徒歩約30分）

雪の巨大ステージは、十日町雪まつりの象徴として美しい舞台を演出します。ゲストに「mihimaru GT」「Best Partner」「Yucca」を迎え、ステージを華やかに盛り上げます。

mihimaru GT（ミヒマル ジーティー）

2003年１月に結成。2006年９thシングル「気分上々↑↑」でブレイク。NHK紅白歌合戦には翌年と合わせて２年連続出場。2008年オリジナルアルバム「mihimarise」でオリコン１位を獲得。2010年には全国47都道府県をLIVE制覇。2011年12月に映画「カルテット！」主題歌27thシングル「OneTime」をリリース。

Best Partner（ベストパートナー）

2002年３月、十日町市出身の越井祐希と埼玉県出身の山田寛朗で結成。神奈川県でストリートミュージシャンとして活動を始める。2004年10月に１stシングル「赤煉瓦」を全国リリース。2004年冬、中越大震災の際、災害FM放送で「赤煉瓦」が放送されたのをきっかけに、新潟でファンが爆発的に拡大。2009年12月には東京公演、2011年８月には渋谷で単独コンサートを成功させました。

Yucca（ユッカ）

３オクターブの声域と７つの音色を持つYucca。NHK大河ドラマ「龍馬伝」では挿入歌を担当。木村拓哉主演の映画「SPACE BATTLESHIP ヤマト」のスキャット曲やCMソングなどで幅広く活躍。その透き通った声は、心の奥深く癒しと潤いを与えてくれます。

司会

サンドウィッチマン（伊達みきお・富澤たけし）

1998年９月に結成された宮城県仙台市出身のお笑いコンビ。2007年M-1グランプリ王者、2009年キングオブコント準優勝。BSフジの「東北魂TV」やニッポン放送の「サンドウィッチマンの東北魂」などテレビやラジオで大活躍。

※都合により、予告なしに出演者が変更になる場合があります

雪像ステージ「復興への願いを　天空からの啓示」

雪像ステージはパルテノン神殿。古代ギリシアのアテナイ（現アテネ）の守護神を祀（まつ）る神殿として、紀元前438年に建設されたドーリア式建造物の最高峰の神殿をモチーフに、十日町市の復興と都市の安全のシンボルとして制作します。アクロポリスの丘に建つ神殿の構造をできる限り立体的に再現し、照明演出により幻想的な世界を構築します。

特典がいっぱい！

十日町雪まつりパスポート　好評発売中　3,000円（税込）

雪上カーニバルや雪の芸術作品、おまつりひろばなど、魅力いっぱいの雪まつりを心ゆくまで楽しめるように、パスポートを用意しました。18日㈯夜の雪上カーニバルでパスポート優待ゾーンに入場できるなど７つのお楽しみ特典が付いています。パスポートを手に十日町雪まつりにおいでください。

◆**特典①　雪の芸術作品めぐりスタンプラリー**
雪像を３作品以上鑑賞し応募すると、抽選ですてきな賞品が当たります。

◆**特典②　おまつりひろば優待サービス**
協賛おまつりひろばで商品割引や無料提供などのサービスが受けられます。

◆**特典③　雪上カーニバルパスポート優待ゾーン入場**
18日開催の雪上カーニバルで会場前方のパスポートゾーンに入場できます。
※パスポートを所有する保護者同伴の子ども（小学生以下）も入場できます

◆**特典④　市街地巡回バス・ひろば巡りバス乗り放題**
雪の芸術作品めぐり、おまつりひろばめぐりに便利な巡回バス（18日・19日）が乗り放題になります。

◆**特典⑤　クロス10買い物割引**
クロス10で買い物をする際に200円の割引サービスが受けられます。但し、2,000円以上ご利用の人に限ります。

◆**特典⑥　クーポンサービス**
パスポートに付いているクーポン券に記載されている店舗で割引などのサービスが受けられます。

◆**特典⑦　雪像見学ツアー割引サービス**
雪の芸術作品を巡る雪像見学ツアーまたは入賞作品ツアーの料金から2,500円の割引サービスが受けられます。※ツアーは催行の３日前までに申込みが必要です

◎**雪像見学ツアー**：17日㈮午後５時30分～10時（夕食付）／料金4,500円（パスポートを持参の人は2,000円）
◎**入賞作品ツアー**：18日㈯午後１時～４時／料金2,500円（パスポートを持参の人は：無料）
ツアー申込み先：共立観光㈱　☎752-4128

十日町雪まつりパスポート販売所

雪まつり事務局（本町分庁舎）、各支所地域振興課、中央公民館、中条・川治・吉田・下条・水沢の各公民館、市役所本庁舎売店、クロス10、キナーレ、ほっくほく何でも案内所、サウンドエース（リオンドール店）、オプト・ニワノ、野上書店、共立観光㈱、文具館タキザワ、イオン十日町店、ブックス平沢（シルクモール店・妻有店）、千年の湯、全国のセブン-イレブン、ローソン、CNプレイガイド、ＪＲ東日本管内「びゅうプラザ」「みどりの窓口」（一部）ほか　※詳しくは雪まつり公式ホームページをご覧ください

オープニングフェスティバル2012

3日間の開幕を告げる一大イベントです。

■**日時**：2月17日㈮
午後6時30分～8時30分

■**会場**：コミュニティひろば（十日町高校グラウンド）

ウェルカムセレモニー

十日町市と交流のある各都市のミスの皆さんの紹介、雪の芸術展表彰式などを行います。

■**日時**：2月18日㈯
午後1時～2時30分

■**会場**：コミュニティひろば

第1回 十日町きもの女王コンテスト

観光親善大使の十日町きもの女王を選びます。

■**日時**：2月19日㈰
午後1時～（開場0時30分）

■**会場**：クロス10

ツマリアンボール選手権大会

十日町雪まつりが発祥のスノーフィールドバレーボールの選手権大会です。

■**日時**：2月19日㈰
午前9時～午後3時30分

■**会場**：コミュニティひろば

キャラクターショー

子どもたちに大人気の「海賊戦隊ゴーカイジャー」によるステージショーです。

海賊戦隊ゴーカイジャーショー

■**日時**
2月19日㈰
午前10時30分～
午後1時～

■**会場**
コミュニティひろば

© 2011 石森プロ・テレビ朝日・東映AG・東映

第1回 十日町きもの女王
コンテスト出場者募集

昨年までのミス十日町雪まつりコンテストが一新され、「十日町きもの女王」コンテストとして生まれ変わります。未婚・既婚を問わず幅広い人から応募してもらえるようになりました。海外旅行や振袖といった豪華賞品も盛りだくさん。多数の応募をお待ちしています。

◆**応募資格**
①未婚・既婚を問わず、満18歳からおおむね40歳までの女性。（高校生は除く）
②県内在住者。ただし、県外在住でも県内に帰省地がある人は応募できます。
③市の観光親善大使として、平日を含め年間を通して市の観光行事などに出務可能な人。
④ほかのコンテストに入賞し、任期中でない人。

◆**応募方法**
次の①・②を申込み先へ持参または郵送してください。
①必要事項を記入した応募用紙
※応募用紙は雪まつりホームページからもダウンロードできます
②3か月以内に撮影された〝正面向きの顔〟と〝全身〟のカラー写真（いずれもL版）各1枚
※提出された写真は返却しません
※書類審査通過者の顔写真はガイドブックなどに掲載されます

◆**応募締切り**
1月16日㈪ 午後7時（必着）

◆**審査会**
①予選会（書類審査）1月22日㈰
②本選会出場者説明会2月5日㈰
③本選会（公開審査）2月19日㈰

◆**申込み・問合せ**
〒948―0082十日町市本町2本町分庁舎内 十日町雪まつり実行委員会事務局十日町きもの女王コンテスト係 ☎757―3100、FAX757―2285

十日町雪まつり 各種募集のお知らせ

ひろば開設・雪像制作団体募集

おまつりひろばを開設する団体と雪の芸術作品・雪の街角作品の制作団体を募集しています。

⑴おまつりひろば
ひろばでお客様を迎え、おもてなししてみませんか。

⑵雪の芸術展
①芸術部門②特別部門③学童部門の3部門
※芸術部門は十日町地域の作品のみ審査対象となります

⑶雪の街角作品
小人数の団体での雪像制作に適したコンテストです（会場：ほくほく線十日町駅西口公園）

●**応募締切り**
1月10日㈫（必着）

●**応募用紙**
雪まつりホームページ及び雪まつり事務局に配置。

雪まつり協賛金募集

十日町雪まつりを盛大に開催するため、協賛してもらえる人を募集します。団体や個人、金額を問いませんので、多くの皆さんからの協賛をお願いします。

●**雪まつり協賛**
雪まつり全体に対する協賛です。

●**花火協賛**
雪上カーニバルのフィナーレを彩る花火への協賛です。市民の力で大きな花火を打ち上げましょう。

●**広告協賛**
多くの来場者が手にするガイドブックに広告を掲載します。企業や団体のPRに活用しませんか。

※1月11日㈬までに協賛（1万円以上）していただいた団体・個人は名前をガイドブックに掲載します

ボランティアスタッフ募集

十日町雪まつりの運営をサポートする、ボランティアスタッフ（高校生以上）を募集します。

【オープニングフェスティバル2012】
お笑い芸人ライブなどイベント盛りだくさんのオープニングフェスティバルの運営をサポートします。

●**期日**：2月17日㈮
●**会場**：コミュニティひろば（十日町高校グラウンド）

【コミュニティひろばの運営】
雪まつり期間中に開設されるコミュニティひろばの運営ボランティアを募集します。ひろば内のアトラクションの手伝いをしてもらう予定です。

●**期日**：2月17日㈮夕方～19日㈰夕方
●**会場**：コミュニティひろば
●**申込み締切り**：1月25日㈬

協賛行事募集

十日町雪まつりを盛り上げるため、雪まつり期間中に開催される地域のイベント行事を協賛行事として募集します。協賛行事は雪まつりガイドブックに日時と行事名を掲載します。

※経費を補助するものではありません

●**応募締切り**：1月6日㈮
●**応募用紙**：雪まつりホームページ及び雪まつり事務局に配置

協賛行事：キャンドルロード

申込み問合せ
十日町雪まつり実行委員会事務局（本町分庁舎内）☎757-3100 FAX757-2285
ホームページ http://snowfes.jp/ e-mail：snowfes@city.tokamachi.niigata.jp

守って安全　みんなで気配り

雪処理に注意とご協力を

雪の季節は除雪、凍結、雪崩など、事故やトラブルの危険がいっぱい。雪の降り初めは、車の衝突や転落事故が多発します。慎重な運転を心がけてください。また、真冬のアイスバーンや除雪直後の道路での転倒にも十分注意してください。
安全を確保しながら、ルールを守って冬を乗り切りましょう。

①危険な場所に近寄らない

冬場は夏場に比べ危険な場所がいっぱいです。町内などで危険箇所を把握して、家の周囲での雪壁崩落や消雪池・流雪溝への転落事故に十分注意しましょう。

②雪おろしに注意

雪おろし作業は安全を第一に考え、足元には十分注意しましょう。屋根雪などの道路への投げ捨ては禁じられています。やむを得ず道路に出す場合は、道路脇に積み上げるなどして、速やかに片づけてください。

落雪式屋根の軒下には絶対に立ち入らないようにしましょう。また、ガスや灯油の外部配管を傷つけないように注意してください。

雪おろしは隣接する家屋の人に声を掛け、お互いの迷惑を考えながら協力して実施しましょう。

③除雪機械に近寄らない

除雪作業をするときは必ず誘導員を付け、作業中は必ず誘導員の指示に従ってください。

特に、小型除雪機の事故が毎年多発しています。雪が詰まったときには必ずエンジンを停止してから取り除くなど、事故防止に努めましょう。

④流雪溝の正しい使い方

❶作業中は流雪溝のふたが開いていることを知らせるため、赤いカラーコーンや赤い旗を掲示してください。作業終了後は速やかにふたを閉めてください。

❷転落防止のため、投雪口に付けてある十字枠は絶対に外さないでください。

❸道路の中央に設置してある投雪口を利用するときは、必ず誘導員を置いてください。

❹河川への投雪は水上がりの原因になるのでやめてください。

⑤貴重な地下資源

消雪パイプで利用する地下水は限りある資源です。節約を心がけ、いつまでも利用していけるよう大切に使いましょう。

⑥非常口の確保

火災などの緊急時に備え、建物の非常口を確保しましょう。防火水槽や消火栓もこまめに除雪しましょう。

⑦みんなで気配り運転

除雪道路は駐車禁止です。除雪作業の迷惑にならないようにしましょう。降雪・積雪状況により、交通規制が行われることがあります。ご理解とご協力をお願いします。運転者は、水はねなどで歩行者に迷惑をかけないよう、気配りある運転を心がけましょう。

⑧雪崩にあわないために

気温が低く降雪が続く時期や融雪期には、雪崩が起こりやすくなります。雪山の登山やスキー場などでは特に注意し、危険な場所には絶対に近づかないようにしましょう。

雪崩の兆候や危険な場所を見つけたら、すぐに避難して、建設課、各支所地域振興課・農林建設課または地域振興局地域整備部へ連絡してください。

●問合せ　建設課維持係
☎757―9932

NTT・東北電力からのお願い

◇メーター周りを除雪してください。屋根の雪おろし作業をするときは、電線・電話線の切断に注意してください。

◇ロータリー除雪機などで除雪作業をするときは、雪を電線・電話線・変圧器・メーターの方向へ飛ばさないでください。また、バックホーなどで除雪作業をするときは、電話線などに十分注意してください。

◇変圧器や電線に触れると感電する恐れがあります。電線が切れて路上などに落ちていても、絶対にさわらないでください。見つけたときは、至急東北電力まで知らせてください。

■問合せ
NTT東日本新潟 長岡サービスセンター
☎0258-21-3600
東北電力㈱コールセンター
☎0120-175-366

水道管の凍結防止は万全ですか？

冷え込みが厳しくなると、屋外の水道管や蛇口が凍って破裂することがあります。凍結事故による修理費と水道料金は、使用者の負担になります。十分な防寒対策を行いましょう。また、水道を使用しないときに水道メーターが回っていないことを定期的に確認しましょう。

◇凍結防止対策

凍結しやすい所に保温材を巻いてください。発砲スチロールなど水を吸収しない素材が有効です。

◇破裂したとき

メーターボックス内の止水栓を閉じてから、指定工事店に修理を依頼してください。

検針の支障になりますので、メーターボックスの上に物を置かないでください。

◇休止届について

冬期間水道を使用しない場合は、休止届の提出をお勧めします。休止届及び開栓届は電話でも受け付けています。

●問合せ：上下水道局　☎757-3115

そばにいて！たった2分の給油中

これから春先にかけて、ホームタンクから灯油を小分けするときに、うっかりミスにより灯油を流出させる事故が多発します。油の流出は地下水や河川の汚染原因になり、周辺住民に迷惑を及ぼすことがあります。灯油を小分けするときは、給油が終了するまで目を離さないようにお願いします。また、降雪前に外部配管した給油管も点検しましょう。

●問合せ：環境衛生課環境企画係
☎752―3924

上手な救急医療の使い方

～正しい受診で地域医療を守りましょう～

市民の生活に欠かすことが出来ない地域医療。十日町市では、地元医師会の協力のもと、医療を通じて市民が健康で幸せな生活を過ごせるよう取り組んでいます。その一つである救急医療への取り組みや皆さんに協力してほしいことをお伝えします。

■問合せ：健康支援課　☎757―9764

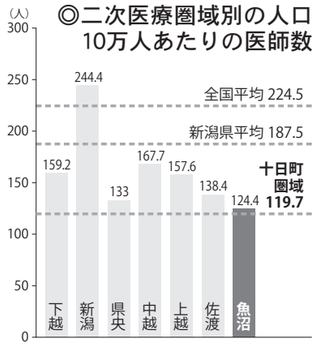
十日町市の医療は、十日町圏域の医師の皆さんから、他圏域に比べて少ない人数の中で懸命に携わっていただくことで支えられています。医師不足の状況は都市部への偏在などもあり、全国的に大きな問題となっていて、一朝一夕では解決できない状況です。このことから、救急医療に対して次の5つのことにご協力ください。

Question 十日町圏域の医師数は？

平成21年度の新潟県保健福祉年報によると、十日町圏域の医師数は85人。平成20年末現在の人口10万人あたりの医師数では119・7人となっています。

人口10万人あたりの医師数全国平均224・5人に対して新潟県は187・5人で、全国41位です。その中でも、十日町圏域を含む魚沼二次医療圏は124・4人で、県内の7つの二次医療圏では最下位です。

◎二次医療圏域別の人口10万人あたりの医師数



①休日救急当番医を利用しましょう

休日・祝祭日の救急医療は、市内の医療機関が当番で診療します。この制度は、休日に緊急の診療が必要となった患者に対して応急処置をするものです。一方で、休日に入院治療を必要とする重症患者に対しては、県立十日町病院など入院設備が整った病院が診療することになります。

このように休日救急当番医と入院設備が整った病院では、休日の治療に対する役割が違います。症状にもよりますが、まずは休日救急当番医を受診してください。

②小児救急医療電話相談などを利用しましょう

救急受診者には、多くの小児も見受けられます。小児の場合、突然の発熱などが起きる頻度が他の世代より比較的多いと考えられますが、実際に受診すると軽症であることも多いという傾向もあるようです。

子どもの症状での心配ごとは新潟県の「小児救急医療電話相談」をぜひ利用してください。

小児救急医療電話相談

①実施日時：土・日曜日、祝日及び年末年始の午後7時～10時

②専用電話：☎025―288―2525　※携帯電話では「#8000」でもつながります

③料金：無料（ただし、電話料金は利用者負担です）

また、市が配布した「子育て支援ガイドブック（平成23年度版）」に、子どもの急病や事故のときの対処方法が掲載されているほか、㈳日本小児科学会でも「こどもの救急」のホームページ（http://kodomo-qq.jp/）を開設しています。普段から子どもの急変に備えて、ぜひ利用してください。

③できるだけ昼間に受診しましょう

診療には、医師だけでなく看護師や検査技師、薬剤師など多くのスタッフが関わっています。昼間の診療時間内にはこれらのスタッフがそろっていますので、検査や投薬などもスムーズに受けることができます。すぐに救急外来を受診しなくてもよいときには、昼間の診療時間内に受診しましょう。

④かかりつけ医を持ちましょう

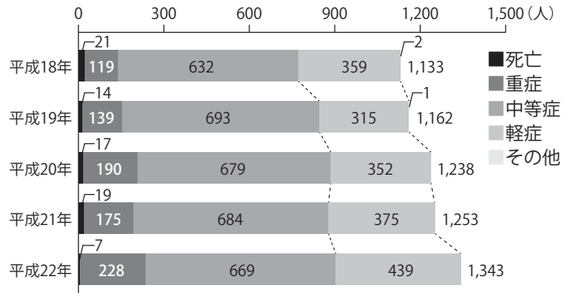
かかりつけの医院なら、普段の体調や病歴などもよく知っているうえで診察してもらえます。普段からなんでも相談できる「かかりつけ医（ホームドクター）」を持つことをお勧めします。

⑤適切に救急車を利用しましょう

全国的に、軽症にもかかわらず救急車をタクシー代わりに利用するケースや、救急車で行けば早く診てもらえるなど、安易な救急車利用の事例が報告されています。

こういった利用が増えると、事故や重篤な傷病などで一刻も早い処置や治療が必要な人への対応が遅れますので、救急車の利用は適切にお願いします。

◎十日町広域圏の救急車急病出動時の傷病程度の割合

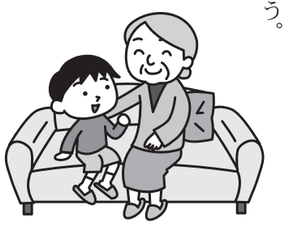


医療資源を大切にしましょう

地域内で医療に携わる医師の皆さんは、地域の「医療資源」と言われています。医療資源を枯渇させないためにも、医療の提供を受ける地域の皆さんの協力が必要です。

重症の患者や入院が必要とされる患者の診療を担う県立十日町病院などに、多くの軽症者が休日に救急外来を受診すると、重症者の診療が遅れてしまったり、診察する当直医師への負担が過重となったりします。

他の地域では、休日救急医療がコンビニ受診化して医師の疲弊を招いた結果、救急医療の維持に影響が出た事例もあります。こういった事態の引き金にならないためにも、私たち市民ができる5つのことを協力しながら地域医療を守りましょう。



表彰おめでとうございます

国土交通大臣表彰

十日町市消防団（団長：富井利明さん）

平成23年7月新潟・福島豪雨では、田川や晒川、羽根川などが想定外の氾濫により市内各地域で甚大な浸水被害や土砂災害が発生しました。十日町市消防団では、大雨洪水警報発令から厳戒態勢に入り、地元消防団を中心に土のう積みや土砂、樹木の撤去作業、避難誘導などの活動を行いました。延べ2、000人を超える消防団員が昼夜を分かたず出動し、被害を最小限に食い止めることができました。この水防活動の功績により、表彰されました。

総務大臣表彰

十日町地域消防本部

東日本大震災に際し、延べ4隊17人の緊急消防援助隊を新潟県隊の一員として宮城県石巻市に派遣。県隊として延べ569人を救出しました。この被災地での活動が被災地域住民の被害軽減に寄与したとして表彰されました。

厚生労働大臣表彰

（母子保健家族計画事業功労）

平澤ユリ子さん
（高田町3西・81歳）

助産師・保健師として永年にわたり母子保健のみならず、保健衛生全般の改善、向上に尽力してきた功績が認められ、表彰されました。平澤さんは、「こうして長く活動できたのも、本当に多くの皆さんに支えていただいたおかげです」と話しました。

「十日町病院新築」が新潟県地域医療再生計画に盛り込まれました

新潟県が国に提出した新潟県地域医療再生計画に、十日町病院新築が盛り込まれました。

新潟県地域医療再生計画は、国の地域医療再生臨時特例交付金交付要綱に基づき、都道府県全域（三次医療圏）を対象とした医療課題の解決に必要な事業を基に策定されたもので、国からの交付金は約38億円となっています。

この約38億円の交付金は、平成23年度から25年度までの間に行われる地域医療再生基金事業に活用されることになり、施設整備については、25年度までの着工が要件となっています。

新潟県地域医療再生計画に盛り込まれた十日町病院新築について、記述の一部を下記に紹介します。

その他事業内容などについては、新潟県のホームページをご覧ください。

【新潟県地域医療再生計画】
〈十日町病院新築〉

◇事業主体：新潟県病院局
◇総事業費：100億円（本地域医療再生基金負担分10億円、県負担分90億円、国庫補助負担分なし）※災害拠点病院としての機能整備分は除いています
◇事業開始年度：平成25年度
◇規模：病床数275床程度、診療科17科程度
◇主な診療機能
○救急を含む急性期疾患及び専門外来機能を基本
○院内に地域医療連携センターを設置
○地域内の慢性期人工透析実施医療機関と連携した急性期人工透析機能の整備
○リハビリテーションの機能強化
○地域のがん治療・緩和センター的機能の整備
○周産期母子医療センターと連携した地域周産期医療機能の整備

■問合せ：地域中核病院建設推進室　☎757―3187

市では第１次行政改革に取り組みました

～76%の項目で成果をあげています～

■問合せ：総務課市役所改革推進係　☎757-9787

市では合併後の新たな行政創造の指針とするため、行政改革大綱として「十日町市行政創造プラン」を、大綱に基づく具体的な実施計画として「重点改革プラン」をそれぞれ策定して、第１次の行政改革に取り組んできました。

「重点改革プラン」では、平成18年度から22年度までの５年間を計画期間とし、新しい時代にふさわしいまちづくりのために、行政と市民が一体となって改革を進めてきました。

このたび、５年間の計画期間が終了したことから、計画期間中の行政改革の取り組み結果をまとめてお知らせします。（詳細については、市のホームページのほか、本庁、各支所、各地区公民館などにある「成果報告書」をご覧ください）

実施計画の取り組み状況　～全体の95%の項目で改革に取り組みました～

	項目	割　合
実施済み	25	59.5%
実施中	15	35.7%
未実施	2	4.8%
計	42	100.0%

実施済み
- 課や係の統合
- 人材育成計画の策定
- 職員専門研修の実施
- 人事考課制度の活用
- 定員適正化計画の進捗管理
- 超過勤務手当などの削減
- 公共施設の処分・統合
- 有料広告掲載などの検討
- ホームページの充実
- 市民との懇談会の実施　ほか

実施中
- 事務の委託化
- 第三セクターの見直し
- 事務事業の整理・統合
- 本庁・支所の機能検討
- 文書管理システムの見直し
- 女性委員の積極的な登用　ほか

未実施
- 民間派遣研修などの実施
- 目標管理制度の活用

成果の状況　～全体の76%の項目で成果をあげています～

評価基準	主な該当項目	項目	割合
想定した以上の高い改革成果が得られた	○課や係の統合　○定員適正化計画の進捗管理 ○国の制度改革に即した給与制度の改正	3	7.1%
想定したとおりの成果が得られた	○超過勤務手当などの削減　○人材育成計画の策定 ○事務事業の整理・統合　○文書管理システムの見直し ほか	21	50.0%
一定程度の成果が得られた	○公共施設の処分・統合　○予算決算、財務諸表の公表 ○ホームページの充実　○パブリックコメントの普及 ほか	8	19.1%
不十分な成果しか得られなかった	○職員提案制度の実施　○審議会委員などの公募拡大 ○事務の委託化　○女性委員の積極的な登用 ほか	6	14.3%
成果が得られなかった	○民間派遣研修などの実施　○目標管理制度の活用 ○行政評価の導入　○まちづくり活動の拠点整備	4	9.5%
計		42	100.0%

主な数値目標の達成状況

取組項目	設定目標	目標値	実績値
定員適正化計画の進捗管理	職員数の削減	49人	148人
有料広告掲載の検討	有料広告収入の増	50万円	241万円
ホームページのの充実	月平均アクセス数の増	5,000件	16,500件
市民との懇談会の実施	懇談会参加者・回数の増	1,300人 12回	1,067人 43回
女性委員の積極的な登用	審議会などで女性委員の増	全委員の35%	全委員の19.2%

主な財政的効果額

□収入（自主財源の確保）
- 未利用、低利用財産などの売却　２億7,100万円

□支出（経費の削減）
- 職員数の削減（５年間で148人）30億7,800万円
- 職員給与などの特例削減　1億8,100万円
- 指定管理者制度の導入　3,600万円
- 補助金の見直し　2億2,000万円

※収入項目は各年度の単純合計額、支出項目は職員給与などの特例削減を除いて、改革前後の比較により累計で算出しています

空き店舗を貸して収益につなげよう！

住宅兼空き店舗の改修工事費に補助金が出ます

～中心商店街貸店舗改修支援事業補助金について～

◎申請できる人

下記のいずれの条件も満たしている人

・十日町市に住民登録をしている、住宅兼空き店舗の所有者
　※十日町の対象区域は右図参照。川西・中里・松代・松之山地域については問い合わせてください
・改修工事後、貸出情報を公開できる人
・市税の滞納がない人

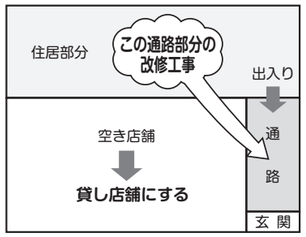
◎対象となる工事

・住宅と店舗の共有部分の分離に必要な建物の内外装の改修
・貸し出すために必要な給排水配管設置工事

◎補助金額

・改修工事費の２分の１の金額で、上限20万円（1,000円未満切り捨て）
　※ただし、工事費20万円以上の工事で、補助金交付決定後に着工すること

◎改修工事の一例



◆問合せ：産業振興課商工振興係　☎757-3139

中学生の税についての作文

十日町納税貯蓄組合連合会、十日町税務署、十日町市租税教育推進協議会では、中学生を対象に、税についての作文を募集しました。入選者を紹介します。（敬称略）

●国税庁長官賞

春日　友里（南中３年）
「税のある暮らし」

●新潟県納税貯蓄組合総連合会優秀賞

滝沢すみれ（十日町中３年）
「『命』を守る税」

●十日町納税貯蓄組合連合会長賞

佐藤　美蘭（松代中３年）
「税について」

●十日町税務署長賞

板場　まい（下条中３年）
「わたしたちの生活と税」

●関東信越税理士会十日町支部長賞

林　昂平（吉田中３年）
「税について」

●十日町納税貯蓄組合連合会優秀賞

佐藤　里紗（中条中３年）
「私たちの生活が豊かになるために…」

島田　梓（水沢中３年）
「税について」

高橋理沙子（川西中３年）
「増税の反対と賛成」

阿部　詩織（中里中３年）
「税によって助け合える？」

●十日町市租税教育推進協議会長賞

〈最優秀賞〉
児玉　怜美（南中３年）
「私達の身近な税」

〈優秀賞〉
黒島　彩音（十日町中３年）
「良い声を国に」

滝沢美希奈（中条中３年）
「税金が生活を支える」

〈入選〉
阿部　桜子（十日町中３年）
「税があるからこそ…」

小川まどか（十日町中３年）
「税から考える教育」

樋口　玲奈（中条中３年）
「税とともに生きていく未来」

小宮山裕理（中条中３年）
「みんなのために、未来のために」

小林　真帆（南中３年）
「『取られる』と『納める』」

桑原　涼（南中３年）
「税金が無くなったら」

小杉さおり（下条中３年）
「税金の使い道」

古澤　咲希（水沢中３年）
「税金の使われ方と大切さについて」

宮沢　佑花（水沢中３年）
「税について」

柳　麻衣（松代中３年）
「税の力」

地産地消 新鮮 おいしい

農家の皆さんが丹精込めてつくっています。

十日町産を食べよう！

地元で作られたものを地元で食べる。
その営みを拡大するために、十日町で作られている農産物などを紹介していきます。

No.16 なめこ

独特のぬめりのあるものから、食感が良くぬめりが少ない大粒なめこまで、いろいろな料理でおいしく食べられます。

十日町市は、新潟県内でなめこの生産量第１位（県内生産量の６割）の産地です。今年９月、ゆきぐに森林組合の新工場が稼働し、更に産地強化されました。菌床栽培は農薬を使わず、温度と湿度調節で栽培されます。大粒なめこは選別に水を使わないため、独特のぬめりが少なく、色が濃く食感が良いので人気です。最近では地元の特産品として、なめこを使った加工品やメニューが新しく開発されています。「なめこカレー（レトルト）」やスイーツコンテストに出品された「なめこプリン」、松之山温泉の「きのこ朝まんま」など、地域資源としても多く利用されています。

〈収穫時期〉 通年

〈おいしい食べ方〉 みそ汁、なめこおろし、炒め物など

●問合せ　農林課農業企画係　☎757-3120

こう つう 幸通便り

～幸せの通りみち～

飲酒運転をしない！させない！許さない！

飲酒運転は、たとえわずかな飲酒量であっても大変危険です。

個人差はあるものの、お酒を飲むと「ブレーキを踏む反応時間が遅くなる」「注意力が散漫になり、ものを見落としやすくなる」「動体視力が低下する」などの変化がおき、重大事故の引き金となります。

年末年始は、忘年会や新年会など、何かと飲酒の機会が多い時期ですが、家庭や職場、友人同士で「飲酒運転を絶対にしない、させない、許さない」を合い言葉に飲酒運転を根絶しましょう。

また、車で仲間と飲食店などへ行く場合には、お酒を飲まない人（ハンドルキーパー）を決めて、その人に自宅まで送ってもらうか、運転代行などを利用しましょう。※二日酔いでも飲酒運転になります。アルコールが体内から抜けるには何時間もかかるため、深酒した翌日は車の運転を控えましょう

●問合せ

防災安全課交通防犯係　☎757-3197

11月の十日町警察署管内の交通事故
◆発生件数：24件
◆死 者 数：２人
◆傷 者 数：24人

まつだいステーション

松代支所
☎597-2220

地域住民で支えるこの地域の医療
～地域の医療を考えるシンポジウム開催～

11月19日㈯、県立松代病院主催の「地域の医療を考えるシンポジウム」がまつだいふるさと会館で開催され、約70人が集まりました。シンポジウムに先立ち、院長の鈴木善幸さんが松代病院の現状や病院再編統合について説明しました。

第1部では「病院づくりは地域づくり」をテーマにシンポジウムが行われ、5人のシンポジウム参加者が地域医療存続について意見を述べました。松代地域協議会で振興会委員の山賀としさんは、「医療関係者が来たくなる地域を創るため、今後住民で後援会を組織し、病院との意見交換の場を設けていきたいです」と話していました。

第2部は自治医科大学地域医療センターの神田健史さんによる「地域医療を動かす全国の住民の力」と題した特別講演が行われました。住民の働きかけにより全国初の「地域医療を守る条例」が宮崎県延岡市で制定されたといった住民活動の実例を挙げ、「医療は人と人です。壁を作らずお互いに思いやりを持って。松代地域ならきっとうまくいきます」と集まった住民にエールを送りました。

松代の自然 ㊷

タモギ（ヤチダモ）

今は農業形態が変化したので、多く見られなくなりましたが、田のあぜの近くには秋に稲を掛けるハセ木としてタモギという高木が植えられていました。成長が早く適応性があり、どこにでも育つ重宝な樹木でした。この木の正当な名前を調べようにも、相手が高すぎて近くで観察ができずにいました。しかし若いころ飼っていたハシボソガラスの黒助がどこからかコレクションにするつもりで拾って来た実と、大風で吹き落された枝先の実が同じことからヒイラギ科のヤチダモと判明しました。湿地を好み直立し、堅い材質なので家材の原料やまきにもされて有用なものでしたが、ハセ木に利用されなくなり大方伐採され、家の近くに生えているものが残っているだけです。

タモギ（ヤチダモ）

各地に「田麦（たもぎ）」に関する地名が見られますが、このヤチダモの生えていたという証明の土地かと思われます。

（文とカット　高橋八十八）

連日盛況！ 早稲田寄席 ～まつだい亭～

11月19日㈯、20日㈰に早稲田大学と十日町市の交流記念事業『早稲田寄席～まつだい亭～』が開催されました。落語研究会の落語を聴こうと雨天の中でも、大勢の人が足を運び、会場のまつだい郷土資料館は笑い声であふれていました。

落語を披露した重藤暁（しげふじぎょう）さん（基幹理工学部２年）は、「雨が降るとお客さんが来ないなんていいますが、こちらでは農作業ができずに暇でしょうがないからと大勢お集まりいただいたようで。ありがたいことです」と感謝の気落ちを冗談交りに話していました。

なかさとファンクラブ通信

中里支所
☎763-3111

豊かな雑木林に育つように
大松沢で植樹活動

11月11日㈮、小出集落の大松沢で中越森林管理署主催の植樹が行われました。植樹には田沢小学校4年生の児童や集落住民、ボランティアの皆さんなど72人が参加し、用意されたブナ、トチ、ミズナラの苗木400本を植えました。

この大松沢は、中越地震とその後の豪雪により、平成18年4月に土砂崩落しました。このことで、下流の清津峡小出温泉街に危険が生じたため、林野庁が翌年から治山工事を行い、昨年9月に完成しました。

児童の皆さんは2人一組になって初めての植樹に挑戦。この日は雨模様でしたが、一度植え方を習うと、泥だらけになりながらも掘った穴に培養土を入れ、小さな苗木を植えました。割り当て分よりもたくさん苗木を植えている児童もいて作業を楽しんでいるようでした。この場所での植樹は今回で一区切りとなりますが、今後しばらくの間は地元のボランティアの皆さんによって下草刈りなど管理される予定です。

「早く大きくなってね」植える苗木に願いを込めます

どゔり中里 たから探し 山崎編

中里の商店が集中する山崎集落。毎年８月29日に打ち上げ花火の全てがスターマインの山崎大花火大会が開催される集落です。この花火大会は山崎諏訪神社の祭りの催しで、神社は集落を一望できる高台にあります。集落から神社へ続く坂の周りには、集落の皆さんが植えたつつじが茂り、春には色とりどりの花を咲かせます。今年も30本の苗木を新たに植えました。また草刈りなど、坂の手入れをするようになってカタクリの花が群生するようになり、楽しみが増えたとのこと。来年は春を感じに山崎神社においでください。

何歳からでも間に合います。賢く元気な脳育て

11月18日㈮、ユーモールで文教大学教育学部特別支援教育専修教授の成田奈緒子さんを迎え、子育て講演会「賢く元気な脳育て」を開催しました。この講演会は中里地区教職員会の主催で、保育園から中学校までの保護者を中心に170人が訪れました。講演では、「〝からだ〟と〝脳〟と〝こころ〟は関連し合っているため、その3つのバランスを保つことが〝脳育て〟。そのためには早寝・早起き・朝ごはんといった生活習慣、生活リズムの確立が大切」との話しがあり、エピソードを交えた講演に保護者の皆さんはうなずきながら熱心に耳を傾けていました。

ときめきネットワーク ㊽

自己を高め、お客様のために

田村　麻希 さん
1987年生
JA十日町川治支店　勤務

先月の佐藤功太郎さんからのバトンタッチ

ＪＡ十日町に就職してから2年になります。学生時代は法律を勉強していましたがかっこいいというイメージや憧れもあり、どうしても金融関係の仕事に就きたくて卒業後こちらに就職しました。やはり地元はいいですね。かしこまった感じがない十日町の雰囲気が好きです。

今は金融部門で主に為替や貯金の仕事をしています。毎日が勉強で上司や先輩に指導してもらいながら仕事を覚えています。

休日は自宅で掃除や洗濯などの家事をして過ごすことが多いです。また、買い物も好きなので郊外によく出かけます。

いずれはファイナンシャルプランナーの資格を取って仕事に役立てたいと思っています。視野を広く持って勉強し、早く一人前になって地域やお客様から頼られる人になりたいです。

楽しもうスポーツ つくろう健康

スポーツ振興課　☎756-5013

【１月～３月は時間が変更になります】

- **時間**：毎月第１・第３土曜日　午後２時スタート（受付１時45分～）
- **集合場所**：本町分庁舎
- **参加費**：100円（保険料）
- **その他**：参加者への特典として、キナーレ入浴割引券やTOPカードのポイント付与があります。

みんなで健康に！「街中まちじゅうウォーク」

毎月第１・第３土曜日に行っている、「街中まちじゅうウォーク」はNPO法人ネージュスポーツクラブと健康運動指導士十日町連絡会の主催で開催しています。市民が「ひとり」でも「友達どうし」でも、誰でも気軽に参加でき、運動を楽しむきっかけや参加者同士のコミュニケーションづくりを目的として行ってきました。

健康運動指導士が、ただ歩くだけでは付きにくい筋肉を鍛える指導もしてくれます。運動不足になりがちな冬こそ、ぜひ街中ウォークに参加してみませんか。

街中ウォーク　目指せ地球一周40,000㎞　【11月19日現在の歩行距離34,299㎞】

あいどるキャッチ 78

南雲　豪ちゃん　なぐも　ごうちゃん
平成20年６月５日生まれ
堀之内　（写真左）

優しい大お兄ちゃんとかわいい弟の賢ちゃんに囲まれて、いつもブロックや積み木で遊んでいます。4月から入園する保育園に今からドキドキの豪ちゃん。元気に育ってほしいとママは願っています。

山田　諒磨ちゃん　やまだ　りょうまちゃん
平成19年10月31日生まれ
諏訪町

諒磨ちゃんはゴーカイジャーが大好き。誕生日にはモバイレーツをもらいました。今からサンタさんが来るのが楽しみな諒磨ちゃん。雪がたくさん降ったら雪だるまを作りたいと張り切ります。

元気予報

防ごう！ノロウイルス感染症

例年、冬から春にかけて、ノロウイルスによる感染症や食中毒が多発します。ノロウイルスはわずか10～100個のウイルスが体内に入っても、腸の細胞の中で増殖し発症します。感染後、1～2日でおう吐や下痢、腹痛などの症状が出ます。予防や感染防止のポイントを確認します。

【手洗い】

○ノロウイルスに、アルコール・逆性石けんはほとんど効果がありません。

○帰宅時、トイレの後、調理前、食事前などに、流水と石けんで手を洗いましょう。2度洗いが効果的です。

【加熱】

○特に、二枚貝などのノロウイルスによる汚染の恐れがある食品は、中心部まで十分に加熱しましょう。85℃以上で1分以上の加熱が目安です。

【調理担当者の健康管理】

○調理を担当している人が下痢やおう吐などの胃腸症状があるときは、他の人と交代するなど調理することを避けましょう。

○ノロウイルスは感染症が治ってからも1か月程度便の中にウイルスが排泄されます。手洗いをしっかりしましょう。

【調理器具の使い分けと消毒】

○まな板などは、肉魚用と野菜用など食材に応じて使い分け、使用後は洗浄と消毒をしっかりしましょう。

○消毒は、85℃以上で1分以上の熱湯消毒、または消毒液（水2ℓにキャップ2分の1杯の家庭用漂白剤を入れたもの）に10分間浸けます。

【汚物の処理】

○患者の吐物や糞便などの片づけは、マスクやゴム手袋・エプロンを着用し、窓を開けるなど換気をよくして行いましょう。

○ペーパータオルや使い捨ての布などで包み込むようにして拭き取り、拭き取った後は消毒液（水500㎖にキャップ2分の1杯の家庭用漂白剤を入れたもの）を含ませた布で10分間覆い、その後水拭きします。

○拭き取ったペーパータオルや布、使用したゴム手袋・マスクなどは、ビニール袋に入れて密封してから捨てましょう。

○最後は丁寧に手洗いをしましょう。

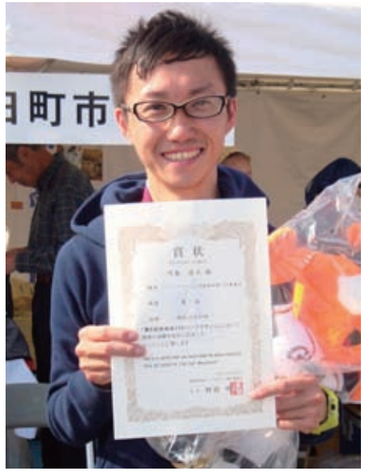
問合せ　健康支援課母子保健係　TEL757-9759

このコーナーは、まちの話題や活動などを紹介しています。
情報がありましたら、企画政策課広報広聴係（☎757-3112）へ気軽にお寄せください。市民リポーターも募集しています。

まちの話題 TOWN TOPICS

世田谷246ハーフマラソン優勝！

11月13日㈰、交流都市の世田谷区で開催された国道246号を通るハーフマラソン、「第６回世田谷246ハーフマラソン」に十日町市から招待された３人の選手のうち、川島啓太さん（本町７−１・27歳）が高校生相当～39歳男子の部でみごと優勝しました（タイム：１時間10分47秒）。当日は約1,500人のランナーが参加して、緑豊かな駒沢オリンピック公園から多摩川の河川敷などを通る日本陸連公認コースを走りました。川島さんは慣れないコース環境で苦しい中、沿道から、「とおかまち！がんばれ！」の声援に励まされみごとゴールテープを切りました。昨年の60歳以上の部での保坂常雄さん（南鐙坂）の優勝に続き、２年連続で十日町市の招待選手が優勝を飾りました。



「まつだい郷土資料館」の魅力を語る

11月５日㈯、まつだい郷土資料館が４月に市の文化財に指定されたことを記念した講演会『まつだい郷土資料館の建築物としての魅力』が同館で開催されました。講師の山崎完一さん（加茂市文化財調査審議会委員・弥彦村文化財保護審議会委員）は、「間取り、デザイン、構造、どれもこれ以上ない完成度。近代和風建築の晩期を飾る名建築です」と話していました。同館は、昭和59年に古民家を利用し資料館としてオープンした後、平成21年、現在のまつだい駅南に移築されました。

十日町市の宝物に絶賛

11月９日㈬、大分県の高校OBで関東在住の一行22人が同級会旅行で来市しました。市内を見学したいとのことで十日町観光ガイドの会が一行を案内。石彫や博物館、レースの製作工場を見学しました。緑道では石彫シンポジウムで制作された石彫を見学。ガイドの話を聞きながら彫刻家の感性のおもしろさを楽しんでいました。博物館では日本で唯一の縄文国宝を目の当たりにし、縄文人の想像力、芸術性のすばらしさ、その暮らしの知恵などに興味を示していました。その後のレース工場見学では、日本トップクラスの技術や設備を見学し、有名ブランドの製品を製作している工程に驚いていました。一行代表の末宗直人さんは、「国宝のような古いものが残っている一方で、新しい石彫芸術に上手に取り込まれているなど、良い体験をさせてもらった。また日本のトップクラスの工場があるなど驚いた。十日町を訪れた宿泊者にこのような市内のすばらしいものをどんどん紹介してほしい」と話していました。（市民リポーター：風間栄光さん）

ボーイスカウトの中越地区の祭りが行われました

11月６日㈰、ボーイスカウト新潟連盟中越地区協議会の「B-P祭」が市民体育館で行われました。当日は雨天の中、県内中越地区から約200人のスカウト・リーダーが集まり、ボーイスカウト創始者である故ベーデン・パウエルさんの誕生日を祝いました。式典後、諏訪神社や公園などでゲームを行いスカウトの祝日を楽しみました。主催した協議会事務長の土田高義さん（燕市・61歳）は、「普段知り合えない友達と触れ合ったり、経験出来ないことを体験したりすることで、社会人としてのマナーを身に付けてほしい」と目を細めて話をしてくれました。また、「十日町にもボーイスカウトの一団があるので、ぜひ入団していっしょに活動してほしい」とも話しました。（市民リポーター：根津明義さん）

自慢の野菜がズラリ！白倉自慢祭

11月３日（文化の日）、川西地域の大白倉・小白倉の第24回白倉自慢祭が盛大に開催されました。豊かな自然に恵まれ、訪れる人を和ませてくれる２つの集落ですが、会場は大白倉のシンボルである樹齢300余年のカスミザクラのあるキャンパス白倉。会場入口前にはジャンボカボチャが並べられ、横断幕とともに会場の雰囲気を盛り上げてくれました。伝統ある野菜の販売には、大根、白菜、キャベツなど丹精込めた自慢の野菜が並びました。この野菜を求める市外からのお客さんも多く、販売前は長蛇の列となりました。午前10時の販売開始とともにどーっと買い求める人で大混乱。みるみるうちに完売となり、24回の事業を通して培った売り手と買い手の信頼を伺うことができました。恒例の自慢祭に出品した田中京子さん（79歳）は、「春から秋まで、全ての野菜を栽培することが何よりの楽しみです」と元気いっぱいに話しました。（市民リポーター：金子又市さん）

初心者でも気軽に参加のラケットテニス大会

11月25日㈮、川西総合体育館で、第13回ラケットテニス大会（主催：川西公民館）が開催されました。ラケットテニスは、一般的なテニスよりも小さなラケットとスポンジ製の軽いボールを使い、バドミントン用のコートで行うスポーツです。テニス経験者はもちろんのこと、小さな子どもや初心者、高齢者でも楽しむことができるため、生涯スポーツとして人気が高まっています。この大会は、男女混成の13チーム、26人が参加し、ダブルス競技で競い合いました。初心者の参加も多く、お互いにルールを確認し合うなど、和やかな場面も見られました。

年末年始の市の業務のお知らせ

年末年始の市やごみ収集などの業務状況、市の各施設の休館情報などをお知らせします。

◎市役所本庁・各支所
12月29日㈭～1月3日㈫は業務を休みます。

ただし、本庁の市民生活課・税務課・子育て支援課・福祉課・健康支援課・会計課の窓口は、29日㈭ 午前8時30分～午後5時15分・30日㈮ 午前8時30分～午後0時30分は業務を行います（旅券業務、住民基本台帳カードの申請・交付、住民票の広域交付、公的個人認証サービス〈電子証明書取得〉は除く）。
※公的個人認証サービスは、12月28日㈬も利用できません

◎中央公民館・各公民館
12月29日㈭～1月3日㈫ 休館

◎千手中央コミュニティセンター
12月29日㈭～1月3日㈫ 休館

◎博物館
12月26日㈪～1月4日㈬ 休館

◎市総合体育館
12月28日㈬は午後5時閉館、12月29日㈭～1月3日㈫ 休館

◎川西総合体育館
12月28日㈬～1月3日㈫ 休館

◎松代総合体育館
12月29日㈭～1月3日㈫ 休館

◎情報館
12月29日㈭～1月3日㈫ 休館

◎ごみ収集
12月30日㈮まで収集カレンダーどおり収集します。
12月31日㈯～3日㈫は、ごみ収集業務を休みます。

◎焼却場へのごみの持ち込み
年末は大変混雑しますので、ごみを持ち込む場合は早めにお願いします。ただし、事業系から排出された資源物の搬入は受け付けません。

◇十日町・川西・松代地域：エコクリーンセンター
12月29日㈭・30日㈮　午前8時45分～午後5時

◇中里・松之山地域：津南地域衛生施設組合ごみ焼却場
12月29日㈭　午前8時45分～午後4時45分
12月30日㈮　午前8時45分～午後3時
※両日とも正午～午後1時は休み

◎し尿くみ取り
12月29日㈭～1月3日㈫は業務を休みます。

年末年始の営業状況のお知らせ

■クロス10
12月31日㈯ 休館　※お土産売場は改装のため21日㈬～31日㈯ 休業、1月1日（元日）は午前11時から営業

■キナーレ明石の湯
12月は無休（水曜日も営業）、ただし31日㈯は午前10時～午後8時・午後11時～翌朝3時、1月1日（元日）は 午後1時～10時営業

■キナーレ体験工房館
12月28日㈬からは改修のため春まで休館

■松葉荘
12月29日㈭～1月1日（元日）休館

■千手温泉千年の湯
年末年始無休、ただし12月31日㈯は午前10時～午後8時（最終入館7時30分）営業

■ひだまりプール
12月24日㈯～1月3日㈫ 休館

■ゆくら妻有
年末年始無休、ただし12月31日㈯は午前10時～午後9時・午後9時30分～翌朝6時、1月1日（元日）は午前11時から営業

■湯処よーへり
12月28日㈬ 休館
※1月4日㈬～3月31日㈯ 冬季休業

■まつだい農舞台
12月29日㈭～1月4日㈬ 休館

■まつだい郷土資料館
12月29日㈭～1月4日㈬ 休館

■まつだいふるさと会館
年末年始無休、12月31日㈯は正午まで、1月1日（元日）～3日㈫は午後5時まで営業

■森の学校キョロロ
12月26日㈪～31日㈯ 休館、1月3日㈫は開館

■十日町子育て支援センター　くるる
12月27日㈫は午後3時まで開館
12月28日㈬～1月4日㈬ 休館

■川西子育て支援センター　えくぼ
12月28日㈬は午後3時まで開館
12月29日㈭～1月3日㈫ 休館

■中里子育て支援センター　きらりん
12月26日㈪は正午まで開館
12月29日㈭～1月3日㈫ 休館

■松代子育て支援センター　すくすく
松之山子育て支援センター　にこにこ
12月29日㈭～1月3日㈫ 休館

※光の館、ミオンなかさと、芝峠温泉「雲海」、松之山温泉鷹の湯は通常営業を行います

GUIDE

催し講座

小中一貫教育 モデル中学校区合同発表会

本年度から試行している4つの小中一貫教育モデル中学校区の取り組みの発表会です。県内先進地の三条市の取り組みに関する講話もあります。●**日時**＝1月6日㈮午後1時15分～4時20分●**会場**＝情報館●**内容**＝発表：下条・川西・中里・松代の各中学校区、講話：「三条市立第三中学校区の取り組みについて」田村和宏さん（三条市立第三中学校小中一貫教育推進リーダー主幹教諭）●**申込み・問合せ**＝12月16日㈮までに学校教育課（☎757―3336）

冬休み子どもアニメ上映会

日本の昔ばなしや外国の童話のアニメ4作品を上映します。どの作品も冬にちなんだ話です。●**日時**＝12月24日㈯午前11時～正午●**会場**＝情報館●**上映内容**＝「マッチうりの少女」「フランダースのいぬ」「雪女」「かさじぞう」●**申込み**＝10人以上の団体で来場する場合は、前日までに団体名と人数を連絡してください。個人や家族で来場する場合は事前申し込み不要です。●**問合せ**＝視聴覚ライブラリー（☎750―5101）

平野香雲作品展「書と木との出会い」

気に入った言葉を木に書いたり、彫ったりした作品です。紙とは違った楽しさを感じてください。●**日時**＝12月10日㈯～18日㈰午前9時30分～午後5時●**会場・問合せ**＝情報館（☎750―5100）

吉田ふれあいスポーツセンター室内ゴルフ練習場オープン

●**期間**＝4月30日㈪まで（積雪の状況により変更あり）※1月1日（元日）・2日㈪は休業●**営業時間**＝午前10時～午後8時（火曜日と第3金曜日は午後5時～）※12月31日㈯・1月3日㈫は午後5時まで●**料金**＝ボール1個10円※5、000円、10、000円の回数券あり●**問合せ**＝吉田ふれあいスポーツセンター（☎752―0670）

第16回市民書初め大会

●**日時**＝1月22日㈰午後0時30分～3時30分（受付開始正午）●**会場**＝クロス10●**参加費**＝500円●**課題**＝自由●**申込み**＝12月20日㈫までに各公民館に配置の申込書を窓口に提出●**問合せ**＝市書道協会・樋口（☎090―5801―5778）

十日町体力づくり支援センター体験教室・イベント

詳しくは問い合わせてください。バスの利用もあります。また、冬季一般開放営業時間が2月まで日曜日午前11時～午後3時になります。**【プール・スタジオプログラム体験会】**●**期日**＝12月27日㈫まで●**受講料**＝回数無制限6、500円、4回5、000円**【冬の短期水泳・体操教室】**●**日時**＝12月18日㈰・25日㈰午前9時～9時50分●**対象**＝小学生以下●**受講料**＝1回1、500円●**定員**＝各15人**【クリスマス会】**●**日時**＝12月23日（天皇誕生日）午前10時～正午●**対象**＝小学生以下●**参加費**＝1、500円●**定員**＝100人**【スピードボール体験会】**●**日時**＝12月18日㈰午後1時～2時●**対象**＝大人●**受講料**＝500円**【冬太り撃退！脂肪燃焼プログラム】**●**期日**＝12月18日㈰～2月26日㈰の日曜日（1月1日を除く全10回）●**受講料**＝1回1、000円●**対象**＝大人●**会場・申込み・問合せ**＝十日町体力づくり支援センター（☎758―3343）

GUIDE

募集

しめ縄講習会参加募集

正月用しめ飾りを作ってみませんか。●**日時**＝12月24日㈯午後1時～4時●**参加費**＝1、500円（材料費込み・わら1束付）●**会場・申込み・問合せ**＝クロス10（☎757―2323）

クロス10「お土産売場」愛称募集

リニューアルオープンするクロス10「お土産売場」の愛称を募集します。十日町に訪れる観光客や市民が愛着を持ってワクワクするような楽しい愛称を付けてみませんか。採用された人には、クロス10商品券（1万円相当）をプレゼント。詳しくは問い合わせてください。●**申込み・問合せ**＝1月10日㈫までにクロス10（☎757―2323）

GUIDE

その他

12月は滞納整理強化月間

市では、納期内に納税している大半の人との公平性や税収確保のため、納税通知書や督促状を送付しても早期完納

に向けた計画の提示や納付がなく、何の相談もない滞納者には厳しい姿勢で滞納処分を実施しています。特に12月は滞納一掃のため、預貯金・給与・不動産の差し押えなどを実施しますので、早期の納付をお願いします。なお、**納付することがどうしても困難な場合は、至急、税務課管理収納係に相談してください。**また、夜間納税相談も実施していますのでご利用ください。（要予約）●**問合せ**＝税務課管理収納係（☎757―3113）

市内スキー場共通リフト券を発行します

上越国際スキー場・なかさと清津スキー場・松代ファミリースキー場・松之山温泉スキー場で利用できるシーズン共通リフト券を発行します。

●**発行対象者**＝市内の未就学児、小・中学生、高校生、市内に住所があり市外の中学・高校に在校している人、十日町市スキー連合会に加盟している団体のアルペンスキー指導者、SAJまたはSIA登録者で市内小・中学生、高校生の指導者●**料金**＝1人15、000円●**問合せ**＝スポーツ振興課（☎756―5013）

列車の遅れなどの問合せについて

冬は降雪などにより、列車に遅れや運休が発生することがあります。JR東日本では、列車の遅れや運行状況などの問合せに「お問い合わせセンター」で対応しています。ホームページ（http://www.jreast.co.jp/）でも各エリア・線区別の列車運行状況を確認できますので、併せてご利用ください。●**問合せ**＝JR東日本お問い合わせセンター（☎050―2016―1600）

にいがた被害者支援センターをご利用ください

にいがた被害者支援センターは、犯罪被害者やその家族に対するさまざまな支援事業を無料で行う団体です。支援は法律により守秘義務が課せられ、情報は厳重に管理されているため被害者が安心して支援を受けることができます。また、被害者本人や家族の同意がある場合、警察が代わって同センターに連絡をとり、支援が円滑に受けられるようになりました。**【電話相談】●日時**：月～金曜日の午前10時～午後4時（年末年始を除く）**【面接相談】●日時**：月～金曜日の午前10時～午後4時（要予約、年末年始、祝日を除く）●**会場**：新潟ユニゾンプラザハート館（新潟市）●**電話相談・面接予約**：☎025―281―7870●**問合せ**＝十日町警察署（☎752―0110）

「社会貢献になる！？貴金属の訪問買い取り」にご注意!!

最近、次のような相談が増えています。

【事例】ある日突然自宅に訪ねて来て、「ペースメーカーの材料に使う金とプラチナが不足している。貴金属を持っていたら買い取る。社会貢献にもなる」と言われた。断ったのに「一つぐらいあるでしょう」としつこく言われ、社会貢献になるならと思い、仕方なく金のネックレスを出してしまった。後になって後悔している。

【アドバイス】不意打ち的に勧誘され、冷静に考える間もなく買い取られてしまうケースが多く見られます。訪問販売の場合はクーリング・オフ（8日間は無条件で契約解除可能）の適用がありますが、訪問買い取りの場合は適用外です。買い取ってもらうつもりがなければ、きっぱりと断りましょう。また、金やプラチナはペースメーカーの主な材料ではなく、ペースメーカーが不足しているという事実もありません。おかしいなと思ったら、また契約を後悔したら、すぐに市消費生活相談窓口に相談してください。

●**相談時間**：平日　午前9時～午後4時

●**問合せ：市消費生活相談窓口（産業振興課内☎757-3740）**

公的年金などの雑所得がある人は、所得税の確定申告が不要になりました

平成23年分の確定申告から、公的年金などの収入金額の合計額が400万円以下であり、かつ、公的年金などに係る雑所得以外の所得金額が20万円以下である場合には、所得税について確定申告書の提出は不要となりました。詳しくは、問い合わせてください。

※医療費控除や雑損控除などによる、所得税の還付を受けるための確定申告書については提出することができます

※上場株式に係る譲渡損失の繰越控除など、確定申告書の提出が控除適用の要件となっている控除を受ける場合には、確定申告書の提出が必要となります

※住民税の申告は必要ですのでご注意ください

■**問合せ：十日町税務署　☎752-3181**

家屋の取り壊しや異動（相続・売買など）の際は手続きを

家屋の取り壊しや異動があったときには、忘れずに手続きをしてください。●**対象**＝①家屋の全部または一部を取り壊した人②売買・贈与・相続などで異動があった未登記家屋（法務局に登記していない建物）など●**問合せ**＝税務課家屋資産税係（☎757―3728）

市報10月25日号クロスワードパズル答え

「きのこ・くり」

11月29日㈫に応募総数65通（うち正解64通）の中から抽選を行い、10人に賞品を発送しました。当選した皆さん、おめでとうございます。

寄付ありがとう

11月25日届出分まで（敬称略）

●**とおかまち応援寄附金**＝三輪義信（東京都杉並区）鈴木俊（新潟市）、藤巻慎一（東京都新宿区）

●**情報館へ**＝関口健次（田中町東）、村山真一（海老）

償却資産の申告をお願いします

平成24年1月1日現在の償却資産の申告のため、償却資産を所有する個人及び事業主（農業者含む）の皆さんに、平成24年度償却資産申告書を発送します。期限内の申告をお願いします。

■**発送予定日**：12月16日㈮

■**申告期限日**：1月31日㈫

■**電子申告**：地方税電子申告システム（eLTAX（エルタックス））が利用できます。これにより、申請書を郵送や持参することなく、自宅や会社からインターネットを使って申告することができます。詳しくはホームページ（http://www.eltax.jp/）をご覧ください。

■**注意事項**

・乗用型田植機・トラクター・コンバイン、工場など構内で使用しているフォークリフト・ミニローダーは償却資産ではなく、小型特殊自動車として軽自動車税の対象です。

・標識（緑ナンバー）の交付を受けている車両は、償却資産として申告する必要はありません。なお、標識の交付を受けていない車両は、税務課または各支所市民課に交付申請書を提出してください。

■**問合せ：税務課家屋資産税係　☎757-3728**

乗用型田植機の課税が変わります

従来、償却資産として申告されていた乗用型田植機が固定資産税の課税対象から除かれ、平成24年度から軽自動車税が課税されます。

ただし、歩行型田植機や最高時速が毎時35㎞以上の農耕用作業車は従来どおり償却資産として申告が必要です。

次の2つの条件を満たす田植機の所有者には標識（ナンバー）を交付しますので、軽自動車税の申告をお願いします。

①乗用装置を備えている

②最高時速35㎞未満

●**申告開始**：12月16日㈮

●**申告場所**：税務課または各支所市民課

●**その他**：所有者の印鑑と、田植機の車名及び車台番号の分かるものを持参してください。（書類の添付は不要です）

●**問合せ：税務課市民税係　☎757-3716**

あちこたね

▼はじめまして、（古）と申します。松代地域の広報担当（佐）が研修でしばらく不在となったため（市報10月10日号あちこたね参照）代わりに広報を担当することとなりました。よろしくお願いします。

▼支所ページの記事を書いている日、松代では初雪が降りました。初雪とは思えないほどの勢いで降り続き、帰る頃には数㎝積もっていました。スノーブラシを車に積んでいなかったため、車に積もった雪を手で落とすはめに。スノータイヤに交換して満足しているだけではダメ、という天からの注意喚起だったのかもしれません。備えあれば憂いなし。車だけでなく他のことでも万全の備えをしてこの冬を過ごしていこうと思います。

（古）

▼今年も残すところあとわずか。窓から見える外の木々は葉っぱも落ち、だいぶ寒くなってきました。雪を楽しみに待つ人、いやだなと思う人さまざまではないでしょうか。かくいう私はどちらかといえばいやだなと思う派。特にここ最近の豪雪は勘弁してほしいものです。

▼しかし、思い出してみると以前はちょっと違い、たくさんの雪が降る冬が毎年楽しみでした。冬の楽しみといえばスキー。昔はよくスキー場に行ったものです。何事も見方を変えると違う結果が見つかることがよくあります。ここだからこそできることがあるはず！

そんなことを考えながらこたつで丸くなっています。

（ふ）

■発行/十日町市役所 〒948-8501 新潟県十日町市千歳町３丁目３番地 TEL.025-757-3112 FAX.025-752-4635
E-mail koho@city.tokamachi.lg.jp URL http://www.city.tokamachi.lg.jp/ ■編集/企画政策課広報広聴係

ジュニア芸術祭

78

田沢小学校

プールですいすいたのしいな

藤ノ木　優菜さん（１年）

やぎのさくらと友達といっしょに、プールで楽しくあそんでいるところです。いろんなすべり台やプールで、たくさん遊んでみたいです。

セミにのったよ

上原　雪月さん（２年）

セミの細かいところまでよく見て、画用紙いっぱいに描きました。セミといっしょに遊んだり、飛んだりしたいなと思って、楽しく描きました。

楽しいお花畑

涌井　冴空さん（３年）

なかよしのお友だちときれいなお花をながめているところを作りました。うすい紙でリボンや大きなお花も作って、すてきなお花畑ができました。

英語の国は不思議な国

吉樂　明莉さん（４年）

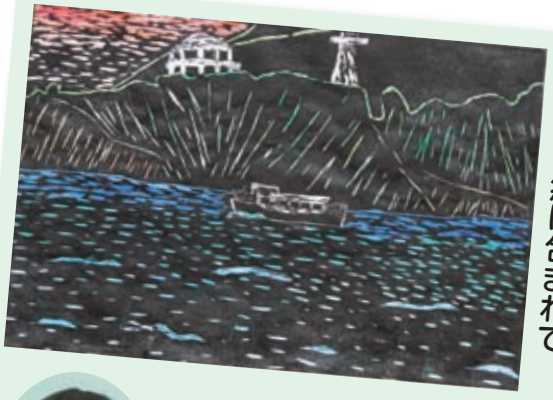
アルファベットの形を使って、不思議な国の公園をかきました。いろいろなところにアルファベットがあります。アルファベットの小人たちがうまくできました。

ポプラの木

樋口　桃子さん（５年）

音楽室から見えるポプラの木をかきました。木の幹のボコボコしているところを、似ている色で表せるように工夫しました。

佐渡の大自然に包まれて



星野　よしみさん（６年）

修学旅行で佐渡に行った思い出を版画で表しました。おだやかな海の波の様子が分かるように、ほりかたを工夫しました。多色刷りに初めて挑戦しました。

市民の動き

■人　口　59,348人（−48）男　29,003人（−32）女　30,345人（−16）
■世帯数　20,062世帯（−１）11月末現在（　）は前月からの増減